

安全推進員テキスト

漁業の安全を守る7つのポイント

船の安全点検チェックリスト

(水産庁補助事業)



一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター

－ 目 次 －

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1. 漁業の安全を守る7つのポイント・・・	4
2. 船の安全点検チェックリスト・・・・	13
3. AISについて・・・・・・・・・・・・	19
4. その他・・・・・・・・・・・・・・・・	23
参考：カイゼン講習会資料・・・・・・・・	24

はじめに

①

ホントは危険な船



②

漁協で聞いてみたら



③自分でするのが自主改善



④まずチェックしてみよう





ワンポイントアドバイス

- ⇒ 船舶事故ハザードマップ
「運輸安全委員会」で検索
- ⇒ 海の上で、もしもの時は「118」番 海上保安部へ
- ⇒ AIS 船舶自動識別装置



1. 漁業の安全を守る7つのポイント

安全について

プロの職業・・・日々、真剣勝負を挑む 実力によってのみ収入
プロ選手（野球、サッカー、ゴルフ）、将棋、歌手、芸人
身体が資本 → 健康管理・安全に気をつける 漁師も同じ

プロ野球の選手を例にして

野手…◎ ヒットを打てる・ファインプレー × ヒットが打てない・エラーをする
投手…◎ ストライクが決まる × 打たれる
⇒ いずれの選手も × 怪我、病気をしたら漁に出れなくなる
日々の練習 + 体調・コンディション、運 → 日々の研究、安全・健康管理

プロの選手は怪我すると引退!!

期待されている選手が怪我して → 休む → 長期療養 → 退団
身体を怪我して引退した選手は数多い
長く活躍する選手は健康に気をつけている → イチロー、衣笠、金本、三浦・・・
漁業も同じ 怪我や病気をすると → 休業・下船 → 入院 → 廃業

プロの選手に怪我は大敵 ①

☆プロ野球選手

バッターボックスに立つときは、必ずヘルメットを着ける
→ 球が当たると、大怪我をする

☆漁師

ライフジャケットの着用 → 海の上ではいつでも転落する危険がある

プロの選手に怪我は大敵 ②

☆プロ野球選手

身体を鍛える、打ち方、投げ方、走り方などチェックして能力を上げると同時に、
怪我をしないように工夫（カイゼン）する

☆漁師

怪我をしないように、漁場・漁具のやり方を改善する

(1) 法規制ばかりでは人は動かない

「絵に描いた餅」

現場での理解と指導者が必要です

安全を守る指導者が必要です。例えば、第二次世界大戦後、交通量の増加に対して信号の整備が追いつかず、児童の事故が急増しました。そのため、児童の安全を守ることを目的として「みどりのおばさん」が導入されました。横断歩道で車を止め、子供たちには左右をよく見ることを伝えて、交通ルールの普及をはかりました。毎日、横断歩道に立って活躍していたことを、ご存知の方も多いかと思います。

安全推進員は陸の学童擁護員と同じように、海で働く人の安全を守るのが仕事です。



👉ポイント 安全推進員は難しいことを指導するよりも、みなさんの安全を考えて、声を掛けるなどの地道な活動を繰り返しましょう。

(2) まずは目標とやるべきことを作しましょう

「思い立ったが吉日」

最終的な目標はもちろん労働災害０（ゼロ）、ライフジャケット着用１００%、などです。まずは、「労災を半分に減らす」、「全員ライフジャケット着用」など自分たちでやる目標を、自分たちで考えて決めましょう。

次に、その目標を達成するにはどうしたらよいかを考えてみましょう。みんなが安全に注意し、ライフジャケットを着るよう、繰り返し呼びかけることが大切です。「出港入港時の呼びかけ」、「作業中の無線での呼びかけ」なども重要です。例えば「毎週〇曜日の入港時に声をかける」、「毎日無線で呼びかける」、「〇〇の講習会をする」等でも結構です。



☞ポイント 目標をたてたら、何をするのか、みんなで話し合っ決めてみましょう。無理をせず、一步一步始めましょう。時間があれば、無線でも呼びかけてください。例えば、風でまわりに僚船もない時に、ボーとしたり、うつらうつらしたりして海中転落や事故になることがあります。『元気か！』など、短くて簡単な言葉で結構ですので、呼びかけてみてください。

(3) ライフジャケットは自分の身体や仕事に合ったものを 「天災は忘れたころにやってくる」

ライフジャケットは「車のシートベルト」と同じです。いざという時にあなたの命を守ります。ライフジャケットを着けていなかった時のことを考えてみてください。海中転落して行方不明になった時、僚船は総出で捜索します。その間は漁ができず、残された家族は肩身が狭い思いをするかもしれません。また、行方不明になると死亡の認定まで7年間かかることもあります。収入がなくなると、家族は生活に困ってしまいます。ライフジャケットは最悪の事態にあなたばかりでなく、家族をも守るのです。「船に乗ったら着ける」を習慣化しましょう。

漁法、地域、船ごとに作業の内容が違います。同じ地区でも漁法は船によって異なります。固定式が良いか、膨張式が良いか、いろいろと情報を取り寄せて、仲間や組合と相談しながら、自分達にとって一番使い勝手の良いライフジャケットを選びましょう。国土交通省の「ライフジャケット着用推進のHP」(<http://www.mlit.go.jp/maritime/lifejacket/index.html>)などに色々な種類のライフジャケットが載っています。ライフジャケット購入の際には、公的な支援制度が受けられる場合もあります。



(4) 漁業の労働災害は海中転落ばかりではありません

「備えあれば憂いなし」

死亡事故で多いのは海中転落であり、その対策として「ライフジャケットの着用」は有効な手段です。しかし、仕事中に怪我をする労働災害で多いのは「はさまれ」、「激突」、「転倒」などです。それらの事故を無くすため、日々の作業で注意をするとともに、作業の「カイゼン（改善）」をしてみましょう。

また、一人乗り漁船では、操業中に具合が悪くなったりして、船から落ちてしまうことがあります。できるならば集団で操業をしたり、僚船の近くで操業したり、複数人で操業をしましょう。



☞ポイント 出港時に声をかける時に、一人一人の顔を見てください。顔色の悪い人はいないか、具合の悪そうな人はいないか、いつもと違ってないか、気を配ってみてください。具合が悪いまま一人で操業して倒れてしまい、手遅れになってしまう事もあります。具合が悪そうでしたら「大丈夫か!」と一言、声をかけてください。設備や漁具に著しい破損や、不具合があったら注意をしてあげてください。

(5) 良い事例を参考にして

「人の振り見て我が振り直せ」

他の現場の事例をみて、自分の作業現場にはどの事例が役に立つのか考え、できそうなことからどんどん改善していきましょう。「船内向け自主改善活動の改善事例写真」も参考になります。現場によって状況がちがうので、自分の現場に合わせて工夫しましょう。



📌ポイント 具体的な成功事例の写真などはわかりやすく、他の人も理解しやすいと思います。「〇〇地区では・・・をやっていたよ」と話をしてみてください。自分たちの事例も、他の地区でも紹介されるように改善してみてください。

(6) 活動の記録を

「千里の道も一歩から」

どんな仕事でも初めから完璧な仕事はできないものです。毎日、活動を継続しましょう。そして、今日はどのような言葉で声掛けをしたのかなど、活動内容、その他気づいたことを記録簿に記入してみましょう。声をかける時に効果的な方法、言葉があったら記録しておきましょう。

日々の進捗状況がわかりますし、定期的に地域の安全担当者（安全推進指導員など）に提出し、情報を共有しましょう。呼びかけを浜の奥さん方に手伝ってもらったり、標語やポスターを子供たちや孫たちに書いてもらうことも効果的な手段です。いろいろと工夫してみましょう。



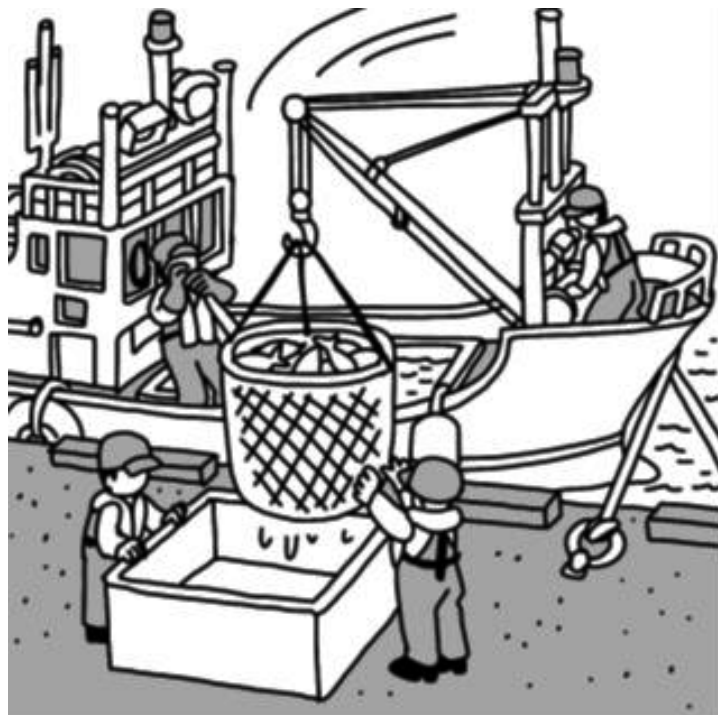
👁️ポイント 時々自分のやってきた活動を振り返ってみましょう。
うまくいっているときは継続をして、うまくいかなかったら、やり方自体も改善をしてみてください。

(7) カイゼンはみんなで考えよう

「三人寄れば文殊の知恵」

漁業はみんなで協力しあう仕事です。

一人乗りの船でも、水揚げや、選別、船の整備など、他の人の協力が必要です。安全活動もみんなで協力して進めましょう。改善の進め方も一緒です。浜回りや、声掛け、船や、作業のカイゼンもみんなで力を合わせましょう。



👉ポイント 「カイゼン」と言うと、難しそうと思うかもしれませんが。しかし、自分たちにとってやりにくい仕事、危険な仕事を、安全でやりやすくするだけのことです。現在、「やりにくい」と思っていることや、「危険だ」と思っていることを、紙に書いてみましょう。「やり方を変える」、「ちょっとした器具つける」、「漁具を工夫する」など簡単にできることから始めて、徐々に難しいカイゼンに進めていきましょう。「船内自主改善チェックリスト」を使うと簡便にできます。

安全推進員 活動記録

平成 年 月～平成 年 月 実施者 安全推進員

月 日	活動種類	活動内容	備 考
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		
月 日	出入港時・無線・講習 その他_____		

(講習会などの資料は、後ろに添付してください) *原本を提出 (コピー保管)

2. 船の安全点検チェックリスト

船の作業29のチェックポイント

このチェックリストは、あなたが作業現場を点検し改善する時の手助けになるように作られています。チェックリストを使って、安全・衛生・作業条件の改善に役立つ提案ができます。

改善の進め方

ステップ1 良い改善事例の写真を壁に貼ってください。

参加人数分の赤と黄色のポストイットを用意してください。一番良いと思う改善事例に赤いポストイット、2番目に良いと思う改善事例に黄色いポストイットをつけてください。（または、スライドの写真に◎、○の印をつけてチェックしてください）

一番投票が多かったものが、みんなが必要と思う改善事例です。

参考にしながら、改善案を考えてみましょう。

ステップ2 チェックリストの項目ごとに進めてください。

「今のままで良い」「改善が必要」「優先します」にチェックし、イメージを膨らませてください。

働いているときに、どこに頭をぶつけたか、どこで足を滑らせたか、どこで手や足を挟まれそうになったか。事前に直せば、忙しい時、疲れている時、ふと気が緩んだ時などでも、ぶつかったり、滑ったり、挟まれたり、怪我をしなくて済むかもしれません。

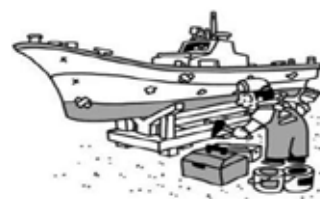
自由記入欄には、良い改善事例や悪い例、さらに問題にした対策に関する情報や、意見を書き留めてください。

ステップ3 最後に全ての項目がチェックされているかどうか確かめてください。

1～29項目のうち、優先順位の高いものを3つ選んでください。

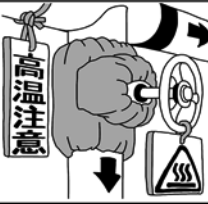
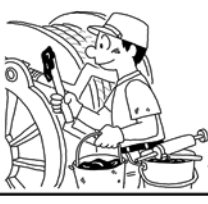
ステップ4 それぞれの参加者が選んだ、優先順位の高い項目を3つずつ提案して、船毎に話し合ってください。グループとして優先順位を決めて、優先順位の高い3項目から改善を始めましょう。

ステップ5 3つの改善が終わったら、次の3つの改善を始めましょう。



実施日 年 月 日 実施者				
整理・整頓				
1. 工具、漁具などのために、使いやすく わかりやすい棚、場所を設けます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 ☐	優先 します ☐	
2. 人や資材が動けるように、通路を確保 し、はっきりとした表示をつけます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 ☐	優先 します ☐	
3. 通路は、障害物やつまづくものがない よう整備します。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 ☐	優先 します ☐	
4. 工具は使いやすいように、適切な 長さ、厚さ、形のものを使います。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 ☐	優先 します ☐	
5. 危険なものや、とがったものは離したり ラベルを付けて配置を変えます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 ☐	優先 します ☐	
6. よく使う材料や工具を、容易に届く範囲 内に置きます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 ☐	優先 します ☐	
転倒防止				
7. 機関室や居室の床に、水、油がこぼれ た場合は直ちに拭きます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 ☐	優先 します ☐	

8. 滑りやすい場所は、スリッパの防止をします。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
9. 階段等の転落する危険があるところには、手すりや柵を設けます。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
10. 突起物は取り除くか、カバー、警戒塗装をします。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
危険の回避		
11. ライフジャケットや保護具を着用するよう に声をかけたり、ポスターを貼ります。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
12. 機械の動く部分や、危険な部分には、 ガードを取り付けます。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
13. 騒音が発生する機械を囲んだり、 カバー、耳栓などをします。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
14. 危険物や、有害なものは保管、隔離 換気などで、安全に使用します。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	

15. 電気を安全に使用されているか確認します。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
16. 非常停止スイッチや、停止ボタンははっきり表示します。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
照明		
17. 全体照明とともに、機械の影などで見えにくい部分には、局所照明をつけます。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
18. 照明器具は、まぶしさを感じさせない方法で、取り付けます。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
係船機器、漁労機器		
19. 引っかかったり、ぶついたりする凹凸がないよう整備します。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
20. 機械等に有害な変形や損傷、腐食がないように整備します。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
作業のしやすさ		
21. 表示、スイッチ操作盤は、大きさ、形、色で、簡単に見分けられるようにします。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	
22. 腰を曲げたり、ひねったりする仕事がないように工夫します。 (メモ欄)	今のままで良い ☐ 改善が必要 ☐ 優先します ☐	

23. 重量物の運搬には、クレーン、台車、ローラーなどを使います。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐ 改善が 必要 ☐ 優先 します ☐	
24. ヒジの高さで仕事ができるように高さを調整します。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐ 改善が 必要 ☐ 優先 します ☐	
情報伝達・衛生設備		
25. 始業前など、作業者が全員で参加するミーティングを行います。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐ 改善が 必要 ☐ 優先 します ☐	
26. 掲示板などを活用し必要な情報が全員に正しく伝わるようにします。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐ 改善が 必要 ☐ 優先 します ☐	
27. 安全で安らぐ休憩場所があり、みんなでコミュニケーションを図ります。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐ 改善が 必要 ☐ 優先 します ☐	
28. トイレや、給水設備などの衛生設備があり、きれいに維持します。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐ 改善が 必要 ☐ 優先 します ☐	
29. 日除けや空調の設置、こまめな水分補給など熱中症対策をしています。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐ 改善が 必要 ☐ 優先 します ☐	

その後の改善活動

改善が終われば、「BEFORE」「AFTER」の写真を撮り、チェックリストとともに記録として残しましょう。これによって、改善活動の書類の保管とともに、船員の改善意識の向上を目指します。初めに挙げた3つの改善が終わったら、次の3つの改善する項目を選んで取りかかります。その、3つの改善が終わったら次に取りかかり、このようにして継続的に実施します。さらに、乗組員全員でチェックリストによる点検を定期的（年1回以上）に実施して、改善活動を継続的に行ってください。

ワークシート、計画シート、報告シートを一体化した「すすめ方シート」の例

改善活動すすめ方シート					
	実施日	年 月 日	船名	丸	
	メンバー				
優先順位	改善内容	改善 計画		改善 結果	
		実施日 (実施予定)	備考 (必要な物など)	実際の改善内容	写真
1					
2					
3					

(記入例)

改善活動すすめ方シート					
実施日	2014年6月1日	船名	〇〇丸		
メンバー	甲野甲太郎、乙野乙子、丙野丙二郎				
改善内容	改善計画		改善結果		
	実施日 (実施予定)	備考 (必要な物など)	実際の改善内容	写真	
甲板の床が滑るので、滑り止めをつける	11月13日～30日 (11月中旬)	ペンキ〇〇円× 〇缶 滑り止め〇〇円× 〇缶 専門店で購入	サンド入りのペンキを塗装		
頭上に頭をぶつける甲→クッション材と注意喚起	7月22日 (7月中旬)	ウレタン〇〇円 トラマーク色のガムテープ 〇〇円 ホームセンターで購入	頭上にウレタンを付ける トラマークのテープを付ける		
工具が整理・整頓されないで、わかりづらい	6月24日 (6月下旬)	ベニア板〇〇円 L字フック〇〇円 ホームセンターで購入	工具がわかりやすいように、大きい順に並べる		

3. AIS について

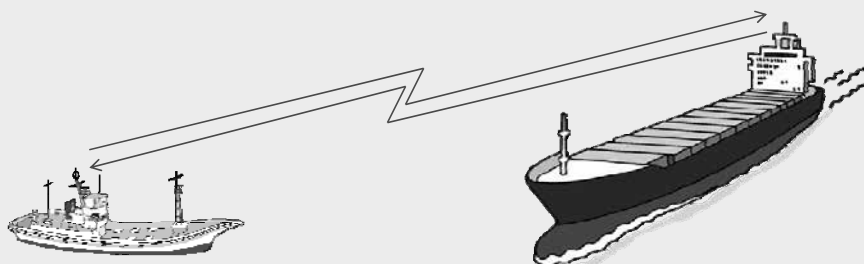
漁業関係者の皆様へ

海難事故防止のためAISの導入を！

AISとは？

AIS (Automatic Identification System: 船舶自動識別装置) とは、船舶の位置、針路、速力等の安全に関する情報を、自動的に送受信するシステムです。

AIS情報(位置、針路、速力等を相互に確認可能)



➤ AISは雨や波の影響を受けず、荒天時でも
お互いの位置、針路等を容易に確認できます！

➤ 簡易型AISは、比較的安価(10数万円程度～)に購入でき、
無線従事者の資格がなくても操作できます。(※ただし無線局の
免許申請は必要です。)

海難事故の事例

平成24年9月24日午前2時頃、金華山東方沖約930kmの太平洋上で貨物船(25,074トン)とかつお竿釣り漁船(119トン)が衝突。漁船の乗組員13人が亡くなりました。

運輸安全委員会の調査によれば、悪天候の中、貨物船のレーダーで漁船は確認できませんでした。

漁船にもAISがあればお互いに相手船を認識できます。
AISを導入してこのような悲惨な事故を未然に防ぎましょう！

総務省、国土交通省、水産庁、海上保安庁

AISを搭載する漁船に支援制度ができました！

1. AIS搭載船には漁船保険料を最大20万円助成します！

漁船保険中央会において、AIS搭載漁船への優遇措置として、年間保険料の一部を助成します。

- ・ 助成対象期間：平成26年度から28年度まで
- ・ 漁船1隻あたりの保険料助成額：年間保険料の一部に対し10%以内
(予算の範囲内において総額で20万円を上限)
- ・ 対象漁船：AIS及び簡易型AISを設置した漁船(ただし、以下の漁船は助成対象外です。)
 - ①法令等で設置義務のある漁船
 - ②「もうかる漁業・がんばる漁業」事業の対象漁船
(助成金を受けても国への返還対象となるため、助成の対象外としています。)

お問い合わせ先：水産庁漁業保険管理官 03-6744-2357

2. AIS設置費用を実質無利子で借りられます！

漁船へのAISの設置に当たって、漁業近代化資金や(株)日本政策金融公庫(沖縄県にあっては、沖縄振興開発金融公庫)の漁船資金等を借り入れる場合の金利を実質無利子とする利子助成(最大2%)を行っています。

- ・ 漁船1隻当たりのAIS設置の借入金の上限は400万円
- ・ 利子助成期間は最長5年間

お問い合わせ先：水産庁水産経営課 03-6744-2347

簡易型AISに係る無線局定期検査の不要化等が措置されました。

簡易型AISについて船舶の無線局定期検査の不要化及び開設時の免許手続きの簡素化(落成検査の省略)(平成26年5月7日から)

定期検査の不要化

簡易型AISのみを設置する船舶局の定期検査が不要となりました。(簡易型AISと併せて次の無線設備を設置している場合も定期検査は不要です。)

- ・ 国際VHF(携帯型・5W以下)
- ・ レーダー(適合表示無線設備※)・5kW未満)

適合表示無線設備には
技適マークが付されています。



免許手続きの簡素化

無線航行移動局(レーダー局)に簡易型AIS等の適合表示無線設備※を追加して、船舶局を開設する場合の手続がすべて簡易な免許手続(落成検査の省略)となりました。

お問い合わせ先：総務省衛星移動通信課 03-5253-5901

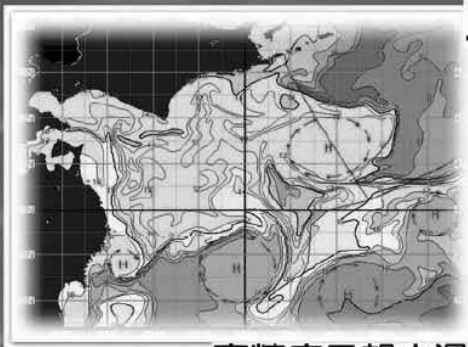
漁業向け海況・気象情報サービス「エビスくん」 「AIS情報が見られるようになりました」

日々の安全操業にご活用下さい

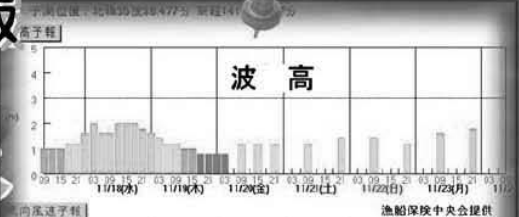


○主な機能
船の大きさを色でお知らせ
近づく船を警告音でお知らせ
船の進行方向表示
船の速度表示

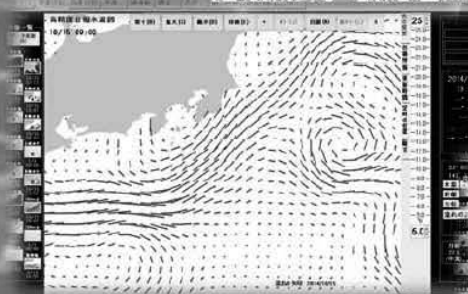
既存の情報



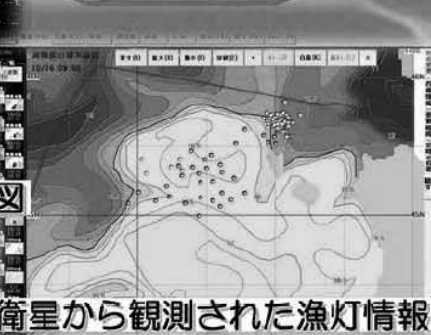
高精度日報水温



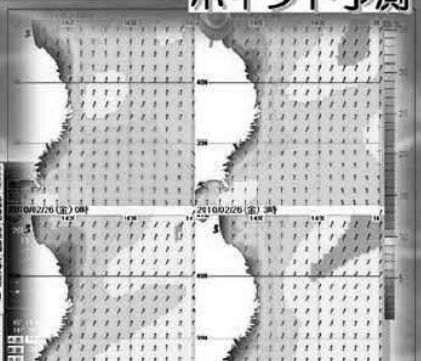
ポイント予測



衛星から推定した流れ図



衛星から観測された漁灯情報



風向・風速予測

その他
台風情報
各種市況情報 (イカ・サンマ・カツオ・マグロ等)
中層水温図 (50m, 100m, 200m)
人工衛星による植物プランクトン分布情報等

【お問合せ先】
情報企画課 TEL: 03-5547-6886
東京都中央区豊海町4-5
豊海振興ビル6階

進化する漁業へ
JAFic 一般社団法人 漁業情報サービスセンター

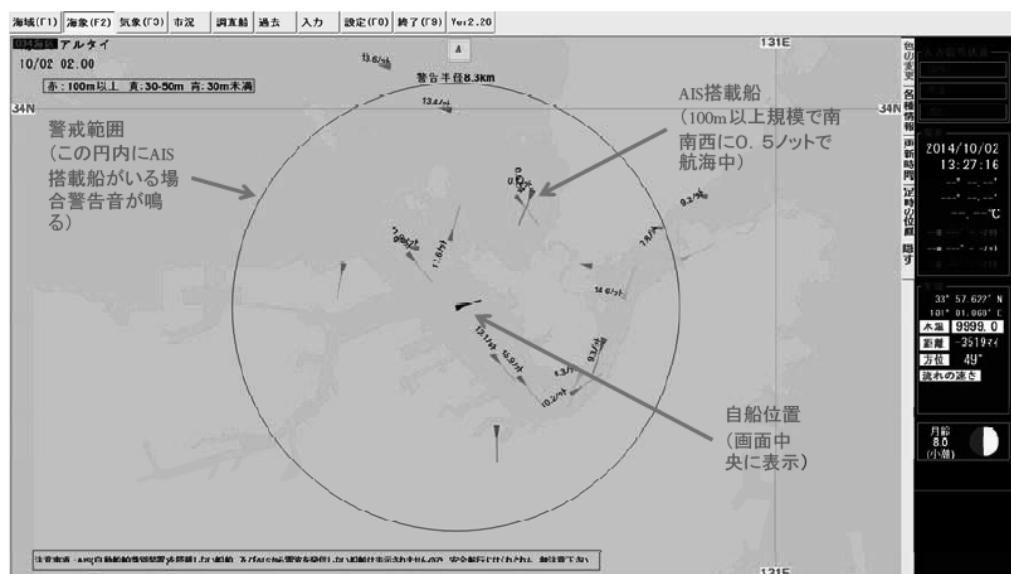
漁業向け海象・気象情報サービス(エビスくん)の機能を充実

■■■ AIS との接続・関連情報の表示 ■■■

漁業情報サービスセンター（JAFIC）では、効率的な漁場探索を支援するため、インターネットを利用した海象・気象情報サービスの提供（エビスくん）に力を入れており、現在沖合漁船を中心に約700隻の漁船がエビスくんを利用しています。今般、エビスくんについて、AIS（船舶自動識別装置）との接続を行うことで新たに漁船の安全性向上の機能を付加しました。

AISは、搭載している船舶が互いに位置や針路などを自動的に送受信できるシステムで、船舶の衝突事故防止など効果があり、JAFICでは、エビスくんをAIS機器と接続し、周辺を航行する設置船舶の情報（位置、針路、船舶規模）をわかりやすく表示できるようにしました。これによって、AIS情報が、簡単な操作で、しかもAIS専用のパソコンなど新たなディスプレイ機器の設置が不要となることから省スペースや設置費用の軽減が図られます。今後、漁船への実証試験を経て、普及の促進を図る予定です。

実際のエビスくんで表示される AIS 画面



自船周辺のAIS設置船舶の動向(位置、進路、速度、船舶規模)が表示。既存の海況情報及び気象画面からボタン一発で切り替えが可能。また、AIS設置船舶が警戒範囲に侵入してきた場合には、警告音がなりユーザーへお知らせする機能もある。

《お問い合わせ先》

一般社団法人 漁業情報サービスセンター	情報企画課長 高橋浩二
(電話) 03-5547-6886	同課長代理 中園博雄

4. その他

「安全推進員」講習会の資料は一般社団法人 全国漁業就業者確保育成センターのHP から、ダウンロードできます。

<http://shuugyousha.org/anzen.php>

安全事業

水産庁補助事業「安全な漁業労働環境確保事業」

漁業カイゼン講習会について

この事業は、漁業の労働環境のカイゼンや海難の未然防止などの知識を持った「安全推進員」を養成します。

「安全推進員」の活躍で、各地域の漁船の労働環境改善などが推進され、海難事故の減少を目指します。 詳しくは、下記の事業案内等をご覧ください。

安全事業	
事業案内	
テキスト	
チェックリスト	
ワークシート	

参考：カイゼン講習会資料



① 講義 (45分)

講義が終了後、二隻の船を点検します。

② 船を点検 (30分)

講義で説明をしました、ペンとチェックリストを持って船を点検してください。
自分の船があれば自分の船を、なければ自分に近い船または自分の船をイメージして
「良い点」、「改善すべき点」を見つけてください。

③ 話し合い (10分)

船毎、グループ毎に、「改善が必要な点」3つを話し合ってください。話し合いの後に、「改善の進め方シート」に記入してください。

2

船員労働災害の発生率

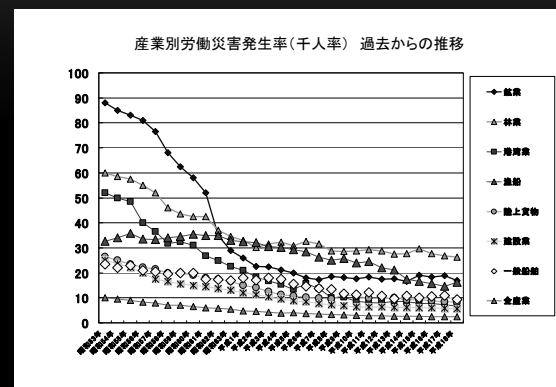
平成26年度の船員労働災害発生率は

漁船員千人当たり13.5人、
全産業平均2.3人の約6倍

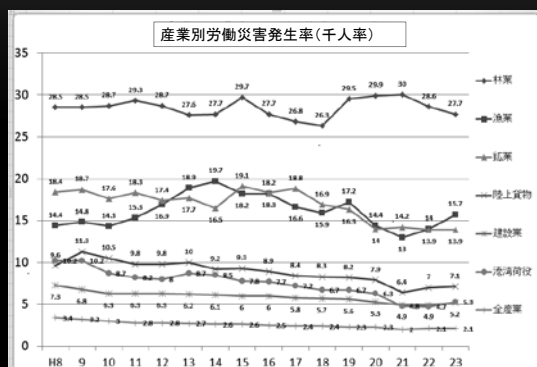
平成26年度の船員死亡労働災害発生率

漁船員千人当たり0.47人
全産業の0.02人の24倍

3



4



(資料出所:労働者災害補償保険事業年報、労災保険給付データ)

5

・水産庁平成21年に「漁業者ライフジャケット着用推進ガイドライン」を作成

・海上保安庁は「ライフガードレース」

・北海道漁船海難防止・水難救済センターのオレンジベスト運動など
→様々な面から促進

6

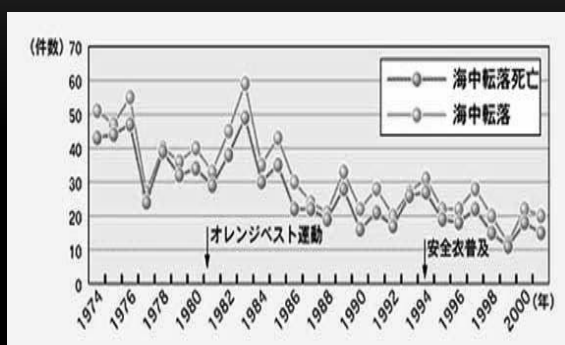


図 北海道周辺海域における海中転落発生状況

海洋政策研究財団 ニュースレター 第64号 2003.04.05 発行 より引用

本事業のポイント

- ・現場で頑張っている人を（これから頑張る人を）
 - ⇒「安全推進員」として、認定する。
 - ・安全の旗振り役、パイプ役
 - ・自主的な改善の推進者
- 自分自身の安全と仲間の安全のサポーター

8

安全推進員のポイント

- ・日々の安全啓発活動
（声掛け、浜回り、講習）
- ・自主改善

9

プロの選手に怪我は大敵 ①

野球の選手がバッターボックスに立つときは、必ずヘルメットを着ける

→ 球が当たると、大けがをする

漁師のライフジャケットの着用も一緒

→ 海中転落すると命を落とす

*海中転落は海の上ではいつでも起こる



プロの選手に怪我の大敵 ②

◎ プロ選手

怪我をしないように

→ 身体を鍛えると同時に、
怪我をしないように工夫。

◎ 漁師の仕事も同じ

→ 漁場、道具、仕事のやり方を改善する。

同時に、怪我をしないよう
に工夫（改善）する。



安全推進員のポイント

- ・日々の安全啓発活動
（声掛け、浜回り、講習）
- ・自主改善

12

漁業の安全を守る7つのポイント (水産庁補助事業)



高崎経済大（水産科学博士）久宗周二

13

1. 法規制ばかりでは人は動かない。 「絵に描いた餅」 現場での理解と指導者が必要です。

安全を守る指導者が必要です。

第二次世界大戦後、自動車の交通量が増加したが信号つけられなかったため、児童の事故が増えました。

その時に、児童安全を守るため「みどりのおばさん(学童擁護員)」が導入されました。横断歩道で車を止め、子供たちには左右をよく見ることを伝えて、交通ルールの普及をはかりました。毎日、横断歩道に立って活躍していたことを、ご存知の方も多いかと思います。

安全推進員は、海で働く人の安全を守るのが仕事です



[HTTP://SHOWA.MAINICHI.JP/NEWS/1959/11/POST-7138.HTML](http://SHOWA.MAINICHI.JP/NEWS/1959/11/POST-7138.HTML)

15

2. 目標とやることを決めましょう 『思いたったら吉日』 いつやるの、今でしょう

自分たちでできそうな目標を、自分たちで考えて、達成するにはどうしたらよいかを考えてみましょう。

「毎週〇曜日入港時に声をかける」、「毎日無線で呼びかける」、「〇〇の講習会をする」

16

3. ライフジャケットは自分の身体や 仕事に合ったものを 「天災は忘れたころにやってくる」

ライフジャケットは「車のシートベルト」と同じです。いざという時にあなたの命を守ります。

万一命を落としても、遺体は見つからなければ、船を総出で捜索して、その間は漁ができません。行方不明になると、死亡の認定まで7年間かかることもあります。ライフジャケットはあなたばかりでなく、最悪の事態になった時に家族や、仲間も守ります。「船に乗ったら着ける」を習慣化しましょう。

17

4. 漁業の労働災害は海中転落ばかりではありません

「備えあれば、憂いなし」

死亡事故で多いのは海中転落ですが、仕事中の怪我で多い原因は「はさまれ」、「激突」、「転倒」などです。それらの事故を無くすためには、日々の作業で気をつける他に、作業の「カイゼン(改善)」が有効です。

また、一人乗り漁船では、操業中に具合が悪くなったりして、船から落ちてしまうことがあります。日々の体調管理に万全を期すとともに、少しでも体調が悪い時には操業を見合わせるようにしましょう。また、できるならば集団で操業をしたり、僚船の近くで操業したり、複数人で操業をしましょう。

18

5. 良い事例を参考にして

「人の振りして我が振り直す」

他の現場の事例をみて、自分の現場に応用できそうなものがあれば、どんどん導入していきましょう。

ただし、現場によって状況が違うので、自分の現場に合わせて工夫をしてみましょう。

19

6. 活動の記録を 「千里の道も一歩から」

今日はどのような言葉で声掛けをしたのかなど、活動内容、その他気づいたことを記録簿に記入してみましょう。

声かけの時に効果的な方法、よい言葉などがあったら、記録してみましょう。

20

安全推進員 活動記録			
平成 年 月 日 実施者 安全推進員			
(講習会などの資料は、後ろに添付してください)・原本を提出(コピー保管)			
月 日	活動種類	活動内容	備考
7月8日	出入港時・無船・講習 その他	「着けているか」声かけた!	
7月9日	出入港時・無船・講習 その他	見回り、声かけ	
7月20日	出入港時・無船・講習 その他	「カイゼン講習会」	
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		
月 日	出入港時・無船・講習 その他		

21

7. カイゼンはみんなで考えよう 「三人集まれば文殊の知恵」

漁業はグループでやる仕事です。

一人乗りの船でも、水揚げや、選別、整備など、他の人の協力が必要です。安全活動もみんなで協力して進めましょう。

改善の進め方も一緒です。浜回しての声掛け、船や、漁具、作業のカイゼンもみんなで力を合わせて進めましょう。

22

漁業関係者の皆様へ

海難事故防止のためAISの導入を！

AISとは？
AIS (Automatic Identification System: 船舶自動識別装置) とは、船舶の位置、航路、速力等の安全に関する情報を、自動的に受信するシステムです。

AIS情報(位置、航路、速力等)相互に確認可能



➤ AISは雨や波の影響を受けず、悪天時でもお互いの位置、航路等を容易に確認できます！

➤ 簡易型AISは、比較的低価(10万円程度)で購入でき、無資格者の資格がなくても操作できます。(※ただし、無線局の免許申請は必要です)

海難事故の事例
平成24年9月24日午前2時頃、金華山東方沖約930kmの太平洋上で貨物船(25,074トン)とかつお釣り漁船(119トン)が衝突。漁船の乗組員18人が亡くなりました。
運輸安全委員会の調査によれば、衝突直前、貨物船のレーダーで漁船は確認できませんでした。

➤ 漁船にもAISがあればお互いに相手船を確認できます。AISを導入してこのような悲惨な事故を未然に防ぎましょう！

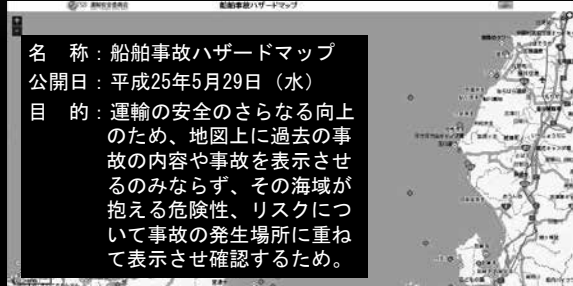
総務省、国土交通省、水産庁、海上保安庁

23

提供：運輸安全委員会

船舶事故ハザードマップについて

越前海岸沖付近



名 称：船舶事故ハザードマップ
公開日：平成25年5月29日(水)

目 的：運輸の安全のさらなる向上のため、地図上に過去の事故の内容や事故を表示させるのみならず、その海域が抱える危険性、リスクについて事故の発生場所に重ねて表示させ確認するため。

検索項目を設定し検索すると事故発生場所が地図上に表示されます。さらに、AISから交通量、分析情報、気象情報を一緒に表示できます。

24



安全推進員のポイント

- 日々の安全啓発活動
(声掛け、浜回り、講習)
- 自主改善

26

あぶない 行動

(不安全行動)





・働く環境を良くするため

→ → → **自主改善**

やりにくい作業、危険な作業、

カイゼン!!

33

自主改善活動の基本的な考え方
例えば、お医者さんに行って

自分の具合の悪いところ（痛いところや、かゆいところ）を言っても、なかなかわかってもらえない

・自分の部屋の服や本を、他の人に洋服ダンスや本棚に勝手に片づけられると

・・・使い勝手が悪い

自分で片付けるのが一番

⇒職場も同じ、自分達でやるのが一番

WIB (WORK IMPROVEMENT ON BOARD)
船内向け自主改善活動とは

ILO（国際労働機関）が作成したWISE
(中小企業自主改善活動) を船内向けに簡便にしたもの。

- ・ 事故が起きそうな場所
- ・ 経験上、危ないと思った場所

⇒チェックと改善

1. 良い事例を参考に
2. 簡単なチェックリストによる評価
3. 改善の進め方シートによる改善

全員参加型職場改善活動：WISE
(WORK IMPROVEMENT IN SMALL ENTERPRISES)

ILOは、災害を減らすための「先取り」活動として、全員が参加して、職場の危険や改善する活動を、世界各国に紹介・指導

↓

2009年3月
国土交通省「船内労働安全衛生マネジメントシステムガイドライン」を作成

- 第10次船員災害防止基本計画

WIBの普及を図る
→WIB指導員を養成







実施日 28 年 〇 月 〇 日		実施者 〇 〇		
項目 整理・整備	今のまま で良い	改善が 必要	優先 します	イラスト
1. 工具、道具などのために、使いやすく わかりやすい棚、場所を設けます。 (メモ欄)	☒	☐	☐	
2. 人や資材が動けるように、通路を確保 し、はっきりとした表示をつけます。 (メモ欄) 〇〇にトラマークをつける	☐	☐	☒	
3. 通路は、障害物やつまづくものがない よう整備します。 (メモ欄)	☐	☐	☐	
4. 工具は使いやすいように、適切な長 さ、厚さ、形のものを使います。 (メモ欄)	☐	☐	☐	

実施日 年 月 日 実施者				
整理・整備				
1. 工具、道具などのために、使いやすく わかりやすい棚、場所を設けます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
2. 人や資材が動けるように、通路を確保 し、はっきりとした表示をつけます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
3. 通路は、障害物やつまづくものがない よう整備します。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
4. 工具は使いやすいように、適切な長 さ、厚さ、形のものを使います。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
5. 危険なものや、とがったものは隠した り、カバーを付けて設置をします。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
6. よく使う材料や工具を、容易に届く範囲 内に置きます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
船舶安全				
7. 乗降口や階段の付近に、水、油がこぼれ た場合は速に拭き取ります。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	

8. 滑りやすい場所は、スリッパの取止めを します。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
9. 乗降口の転落する危険があるところには、 手すりや柵を設けます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
10. 危険物は取り除くか、カバー、警戒 線などで囲みます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
危険の回避				
11. ランプジャケットや鉄線具を巻くするよ うに巻きかけたり、ボスターを巻きます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
12. 機械の動く部分や、危険な部分には、 ガードを取り付けます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
13. 懸垂が危ない機械を囲んだり、 カバー、床敷きなどをします。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
14. 危険物や、有毒なものは警告、隔離 線などで、安全に取扱いします。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
15. 電気安全法に準拠して取扱いする 機器を設置します。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	

16. 作業終了後、停止ボタンは はっ掛けをします。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
整理				
17. 全機関係ともに、機械の影などで見 えにくい部分には、黄旗標識をつけます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
18. 作業現場は、常に安全に保つための 方法で、取り付けます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
危険回避、危険回避				
19. 引っかかりやすい、ぶつかりやすい部分 には、黄旗標識をつけます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
20. 機械等に危険な部分や機械、器具が ないようには、黄旗標識をつけます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
作業のしやすさ				
21. 持ち、スリッパの持ち、大きさ、形、 色で、黄旗標識をつけるようにします。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
22. 顔を上げたり、ひねったりする仕事は ないようには、黄旗標識をつけます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
23. 作業場の周囲には、クレーン、ポンプ、 ケーブルなどを設置します。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	

24. ヒジの長さで仕事ができるように 黄旗標識をつけます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
情報伝達・意思疎通				
25. 始業前など、作業者が全員で参加 するミーティングを行います。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
26. 指示板などを使用し、必要な情報を 全員に伝えるようにします。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
27. 安全で安心で作業場所があり、みんな で楽しむ作業場を設けます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
28. トイレや、飲水設備などの衛生設備が あり、きれいに保たれます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
29. 日焼けや暑熱の影響、こまめな水分 補給など、安全対策を講じます。 (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	
(追加項目)				
30. (メモ欄)	今のまま で良い ☐	改善が 必要 します ☐	優先 します ☐	

改善活動すすめ方シート					
	実施日	2014年6月1日	船名	〇〇丸	
	メンバー	中野中太郎、	乙野乙子、	西野西二郎	
優先順位	改善内容	改善計画		改善結果	
		実施日 (実施予定)	備考 (必要な物など)	実際の改善内容	写真
1	甲板の床が濡るので、滑り止めをつける	11月13日～30日 (11月中旬)	ペンキ〇〇円× 〇条 滑り止め〇〇円× 〇条 専門店で購入	サンド入りのペンキを塗装	
2	頻りに頭をぶつけるので、クッション材とトラマークをつける	7月22日 (7月中旬)	ウレタン〇〇円 トラマーク色の ガムテープ 〇〇円 ホームセンターで購入	頻りにウレタンを付ける トラマークのテープを付ける	
3	工具が整理・整頓されていない、わかりづらい	6月24日 (6月下旬)	ベニア板〇〇円 金フック〇〇円 ホームセンターで購入	工具がわかりやすいように、大きい順に並べる	

改善活動すすめ方シート					
	実施日	年 月 日	船名	丸	
	メンバー				
優先順位	改善内容	改善計画		改善結果	
		実施日 (実施予定)	備考 (必要な物など)	実際の改善内容	写真
1					
2					
3					

50

WIBの手順

ステップ1 よい改善事例を学ぶ
チェックリストをリスクを調査。



ステップ2 グループ毎に改善点を3つ提案する。
実現可能 効果が大きいもの、低コストを優先。



ステップ3 優先順位をつけた3つを改善。
改善が終わったら、つぎの3つを提案して、
改善する取りかかる。



52



53



54



55



56

岩手県久慈での安全講習+船の点検

・ 日時 平成26年8月28日 木曜日

・ 参加者 定置網漁業者 150名

内容

講習会の時間 2時15分～4時 (1時間45分)

安全講習 50分

船の点検 30分

話し合い 改善案の作成 25分

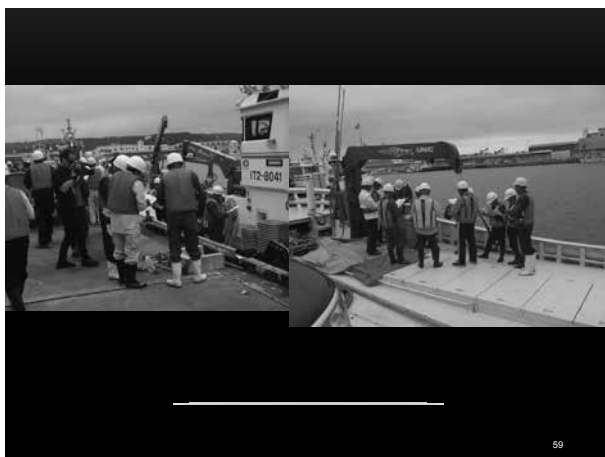
グループ毎に改善案を話し合い

全員が改善すべき点3点を提案した

57

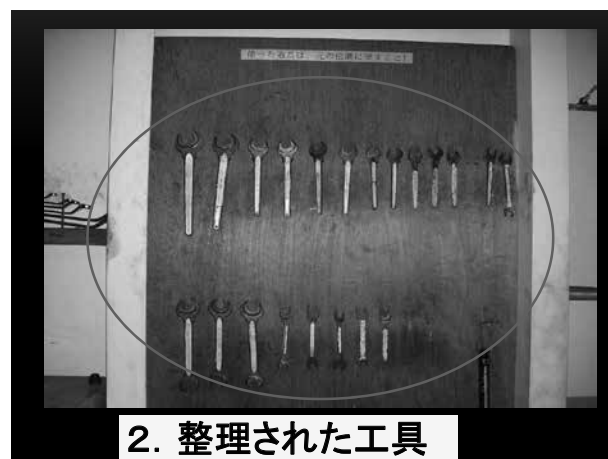
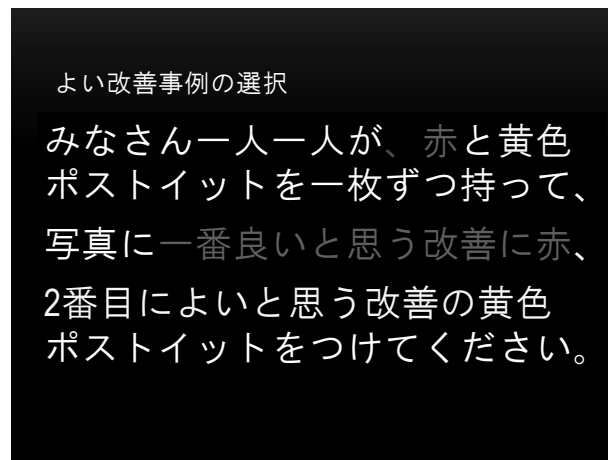
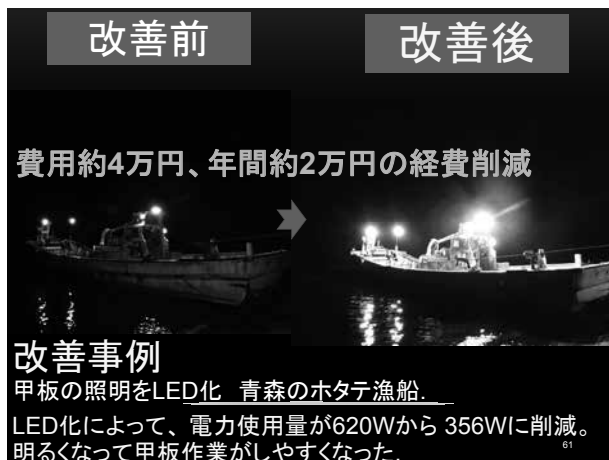


58



59

	改善①	改善②	改善③
1 班	ステップなどの表示	頭上保護	照明の角度調整
2 班	階段のペンキ	スイッチ表示	
3 班	トイレの改善	階段の色分け	スイッチ表示
4 班	ステップの色分け	足場のでこぼこ	収納箱の取り付け
5 班	ヘルメット、ライフジャケット着用	クレーンの安全装置	古いロープは使わない
6 班	頭上注意テープ	階段の色分け	救命胴衣保管場所の徹底
7 班	ペンキの消え	ドラムの頭にタイガーマーク	ポンプ名称ステッカー貼る
8 班	踏み台	ステッカーの改善	足場の表示
9 班	給薬前ミーティング	掲示板の追加	高さの調整
1 0 班	踏み板を滑り防止	ステッカー	トラマーク
1 1 班	スイッチの色分け	ドラムのトラマーク	操舵室の階段滑り止め
1 2 班	船員室の換気	ドラムやスイッチの色分け	ステップの滑り止め
1 3 班	トイレ衛生設備	表示スイッチを簡単に付ける	非常停止スイッチをつける
1 4 班	通路の整備	置かれたものの整備	スリッパ防止
1 5 班	スリッパ防止	凸凹がないように転倒防止	ライフジャケット着用
1 6 班	ステップのスリッパ防止	スイッチの停止ボタン色分け	ユニークの操作場所にステップをつける
1 7 班	トラップ前の電の移動	ブリッジのステップ色塗り (半円)	





5. スイッチの色分け



6. 夜間の照明を確保



7. 遠隔停止ボタン



8. 危険箇所の警告及び緩衝材



9. 保護具着用の徹底



10. 救命衣着用の徹底



11.衛生機器の充実



12.全体にしっかりとした
作りの手すり



13.ネットウインチの船首側に巻
き込まれ防止のカバー



14.甲板魚倉フタ類の段差をなくす



15.色分けをしている



16.海中転落しても船に上れる
ハシゴがついている



17. 日除けがある



18. 作業台がある



19. 便所がある



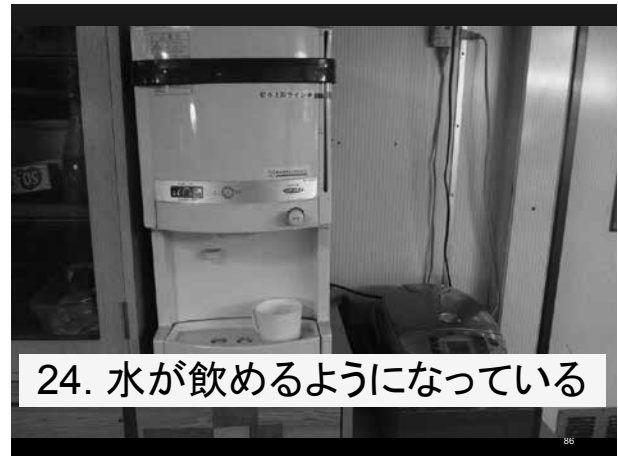
20. 整理整頓



21. 機械の表示がある



22. 資源のリサイクル





参考5.魚を焼く(BBQ)場所がある

WIB式 船内労働安全衛生マネジメントシステム 方法

事業者は労働者の協力のもとに「計画(Plan)－実施(Do)－評価(Check)－改善(Act)」(「PDCAサイクル」といわれます)で安全衛生管理を継続的、自主的に進めることです。

WIB式の特徴

中小の事業者でもシステムができるように、合理的、かんたんに考えられたものです。

WIB方式の導入のメリット

- ・働く人の労働安全衛生の意識が高まり、労働災害の減少・疾病の減少が図れます。
- ・労働安全衛生活動の記録を組織的に残し、会社の管理責任を明らかにできます。
- ・社内外に対して取り組みをアピールすることができます。

92

- ・ 会社の役割
 - ・ 表明・目標・組織・計画等洋式はA4版一枚にまとまっています。
 - ・ マニュアルを読めば経営者と担当で1～2時間で記入できる。
 - (年度末のふりかえり、次年度の計画も同様)
 - ・ 方針、目標、計画の作成ができましたら、一定期間掲示して船員さんの意見を聞き、必要に応じて修正をしてください。その他は、法令で定められた書類の作成と保管、議事録に記入するだけ
- ・ 船員の役割
 - ・ 年に一度以上、WIBチェックリストによる改善案の提案をする事と(30分程度)、提案した改善案の中で自分たちが直せるものは、時間が空いた時に船内を改善していきます。(必要な資材は会社負担) 自分達では難しい、専門的で、大規模な修繕などは専門業者が実施します。
 - ・ その他、必要に応じて労働安全衛生の提案をして、健康診断や、病気の治療を積極的に受けます。

93

WIB 船内向け自主改善活動 マネジメントシステム

方針の表明 (1) 船内労働安全衛生方針	安全で安心して働ける職場環境の構築
推進メンバー 役割と責任 (2) システム担当者の役割、責任及び権限	社長 ■■■■■ (総括安全衛生管理責) 責任者 ■■■■■ (事務局、システムの監査) 船長 ■■■■■
安全衛生目標 (3) 船内労働安全衛生目標	労災減少のために点検と改善の推進
活動計画 (実施頻度、時期) *書類は議事録、アクションチェックリスト、改善進め方シートは別途保存の事 *全員で安全点検を行うことにより、船員の意見の反映が促進されます。	・ミーティング (1回/月) 年 8、9、10、11、12、1、2、3、4、5、 ・職場点検 (チェックリストなど) (2回/月) 年 6月、12月 ・改善の実施 (数回/月・年) 適時 ・講習会 (1回/月・年) 適時 ・災害発生時の原因調査及び改善手順

活動内容の確認 *記録は別紙 同時保存	良くてきた・ややできた・ややできなかった・あまりできなかった ・ミーティング (回/月・年) ・職場点検 (WIBなど) (回/月・年) ・改善の実施 (回/月・年) ・講習会 (回/月・年) ・災害発生時の原因調査及び改善手順の制定 (備考)
次の活動へ	(振り返り) (良くすべき点)



96



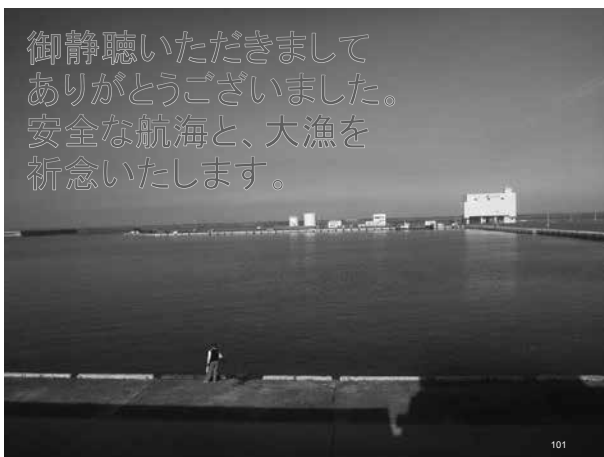
97



98



99



101

**安全な漁業労働環境確保事業テキスト
(安全推進員等養成事業)**

著 者： 久宗 周二

発 効 日： 平成28年6月（平成28年度版）

発 行 者： 一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター